



株式会社 **世界貿易センタービルディング**
WORLD TRADE CENTER BUILDING,INC.

〒105-6104 東京都港区浜松町2丁目4番1号
TEL (03) 3435-3711(代) FAX (03) 3435-6054
www.wtcldg.co.jp/

WORLD TRADE CENTER BUILDING
Company Profile

グループスローガン



グループステートメント

暮らす、働く、楽しむ、くつろぐ。
ひとが集まるさまざまな場所を、
心地よく魅力的な空間にしていきたい。
そして、そこで過ごす一人ひとりの時間を、
もっと豊かで彩りあるものにしていきたい。

ビル事業を中心に、多彩なサービスをお届けするWTCBグループ。
喜びや感動を生む、空間と時間の創造を通じて、
ひととひと、まちとまちをつなぎ、
それが豊かな社会へ、希望ある未来へつながっていくと信じています。

ひととひとの想いを、しっかりとつないでいく。
まちとまちの輝きを、いきいきとつないでいく。

私たちWTCBグループは、
お客さま一人ひとりと真摯に向き合い、地域社会と共生することで、
ひとと、まちと、より深くつながっていきます。
そして、グループ全員で力を合わせて、
創立から受け継がれる熱い想いを大切にしながら、
固い決意と高い志で挑戦をつづけていきます。

目次

Our Business		Our Key Area	
ビル事業/ビル賃貸	3	① 浜松町	9
/施設運営	4	② 大崎	11
/設備・運営管理(世界貿易センタービル)	5	Our Social Responsibility	
/設備・運営管理(ThinkPark Tower)	6	人、地球、地域との共生のために。	13
ブライダル事業	7	Our Philosophy 企業理念	15
分譲マンション事業実績	8	Our History 沿革	17



代表取締役社長
宮崎 親男

ごあいさつ

昭和30年代の後半、世界貿易振興を目的とし、且つ陸海空の交通網を立体的に集約する総合センターの建設の必要性が、経済界から強く叫ばれ、この実現のために、広く経済界の支援を得て建設計画を推進するべく、日本・東京商工会議所を母体として、昭和39年12月に当社が設立されました。その後、財界・諸官庁・金融機関をはじめ、地元各位・テナント・建設工事各社の協力を得て、昭和45年2月に世界貿易センタービルは竣工いたしました。

世界貿易センタービルは、JR及びモノレール浜松町駅や都営地下鉄浅草線・大江戸線大門(浜松町)駅など主要駅に接続し、大規模駐車場や都心有数のバスターミナルを備え、更に羽田空港が国際化されたことによりまして、益々各交通機関の結節点として重要性が増しております。入居するテナントは貿易関係機関をはじめ、多数の企業や団体、さらには金融機関・メディカルセンターから小売店・飲食店などさまざまであり、ひとつの街とも言える多様なサービス機能を有しております。また、当社が加盟する世界貿易センター連合傘下にある海外各地の世界貿易センターとの連携によって、国際取引や国際交流の場としても広く利用されています。

当社ではこの機能を十二分に発揮させ、近年の大型新築ビルに引けを取らない、より快適な業務空間を提供するために、全面的な設備再構築工事(リニューアル)を実施した他、急速に進展する

高度情報化への対応も怠りなく行っております。さらに、地球規模の課題となっている環境負荷低減への対策も、世界貿易センタービルでは早くからコージェネレーション・太陽光発電設備等、省エネルギーシステムの導入を図るなど、積極的に取り組んでおります。

当社は、この世界貿易センタービルの経営を中心に、都市再開発やマンション分譲などの不動産事業を展開するほか、ブライダル事業をはじめとする様々な直営事業にも意欲的に取り組んでおります。中でも、世界貿易センタービルに次ぐ大型ビルの建設が当社における長年の課題でありましたが、平成19年に、東京都「都市再生特別地区」第一号に指定された「大崎西口再開発計画」に基づき、「ThinkPark Tower」を竣工いたしました。ここには、当社が長年にわたり培ってきた大型コンプレックスの運営管理のノウハウが集約されております。また、建設のデザインコンセプトとして「グリーン・アーバニズム」を標榜し、敷地内に広大な緑地を創出いたしました。現在社会問題のひとつとなっている都市部のヒートアイランド対策にも、役に立てるものと確信いたしております。

このように当社は、不動産事業をはじめとする多角的な事業活動により、多様化する社会のニーズに対応し、街とともに発展していく地域創造型の事業を展開するとともに、世界の平和に貢献できる企業として、今後も一層の努力を重ねてまいります。

ビル事業 / ビル賃貸

ビル事業の基本方針は、立地条件のよさを活かし、地域のランドマークとなるような“オフィスを主体とした複合施設”を提供することです。ビルオーナーとしての豊富な経験に基づき、サービスのさらなる充実、顧客満足度の向上を目指しています。



ビル事業 / ビル賃貸の特長

- 人に、環境にやさしい快適なオフィス空間を提供
- ビルの運営管理で培ったノウハウを活かし、プロパティマネジメントやサブリースなど幅広い事業を展開
- 太陽光発電、コージェネレーションなどによる省エネ・省資源への貢献
- 廃棄物などのリサイクル活動の推進
- 最新の警備システムと人的警備による信頼性の高いセキュリティ
- テナントや利用者だけでなく、近隣地域との共生を配慮した運営



世界貿易センタービル



ThinkPark Tower



WTC新百合ヶ丘ビル



久地診療所ビル

Point in Check

● 豊富な経験に基づく運営管理

40年近くの長期にわたるWTCビルの運営管理ノウハウにより、テナント企業の皆様との良好なコミュニケーションを構築。オフィスワーカーが安全、安心、快適に働ける環境を提供し続けています。

● ブランド力を高めるリーシング活動

常に先見の姿で運営にのぞみ、多様化するテナントニーズに対応。ビル設備機能の高度化、環境への配慮を図り積極的に設備投資をおこない、将来的なビルの資産価値を高めています。



ビル事業 / 施設運営

好アクセスを支える「駐車場」、都内有数の「バスターミナル」、圧倒的な景観の「展望台」、ビジネスのさまざまな用途に対応する「コンファレンスセンター」、スポーツやイベントに利用できる「ThinkPark Arena」。施設の運営を通じてビルの価値、魅力を高めています。



ビル事業 / 施設運営の特長

- 年中無休、24時間営業の大型駐車場
- 日本各地への長距離バス、路線バス、観光バスが毎日運行する東京都内でも有数のバスターミナル
- 東京のベイエリアをはじめ横浜、汐留、浅草などを一望。360度の大パノラマを誇る展望台
- 最新の機器・設備を備え、大小さまざまな規模の会議・展示会に対応できるコンファレンスセンター
- フットサルやイベントができる大崎駅のホームに面したThinkPark Arena



駐車場



バスターミナル



コンファレンスセンター



ThinkPark Arena

Point in Check

● 展望台

WTCビル40階・地上152mからの360度のダイナミックビューは、まさにTOKYO！東京湾、お台場、東京タワー、六本木、新宿副都心、汐留、そして富士山。日々変貌し、躍動し続けるTOKYOの、昼夜・季節によって異なるさまざまな顔を発見することができます。

● メディアビジョン

ThinkPark Arenaの上方に設置された、ニュース、天気予報、広告などのさまざまな情報が流れるLEDビジョン。ThinkParkを回遊する人々に日々新鮮な情報をインプットします。



ビル事業 / 設備・運営管理(世界貿易センタービル)

社会の変遷とともに、ビルに対するニーズも変化を続けています。WTCビルは、昭和45年の竣工から今日まで、時代に呼応するようにビル機能を進化させてきました。来館者だけでなく地域社会にも快適、安心、安全な空間を提供しています。



時代のニーズに応える進化・成長

世界貿易センタービル設備・運営管理の事例

●受電設備

ビルの運営上、電源の安定供給は欠かせません。WTCビルでは、特別高圧66kVループ受電として安心して使っていただける電源供給に努めています。



●ITサーバーセンター

賃貸オフィスビルとしては初となるテナント専用のITサーバーセンターの構築や、全館光ケーブル敷設など最新技術を取り入れています。



●コージェネレーション設備

都市ガスを燃料とするガスタービンエンジンで、ビルで使う電気を発電。エンジンの排熱をボイラの熱源として使用し、空調用の蒸気を発生させることで省エネに貢献しています。



●北側2階エスカレーターホール

1日の出入館人数が約10万人にのぼるWTCビルでは、エスカレーターホールなどの共用部を時代のニーズに即してリフレッシュし、快適性・安全性を高めています。



●太陽光発電設備

1413枚の太陽光発電モジュールをピラミッド状に構成した発電設備です。発電した電気はビルの電源として使用。“人にも地球にもやさしいビル”でありたいという思いを体現した設備です。



●維持管理表彰&省エネ表彰

竣工以来、積極的に取り組んできた省エネルギーや長期に亘る建築・設備の適切な維持管理が評価され、BELCA賞(公益社団法人ロングライフビル推進協会)をはじめ多くの表彰を受けています。



ビル事業 / 設備・運営管理(ThinkPark Tower)

広大な緑と多目的広場を備えた新しいタイプの複合テナントビル、ThinkPark Tower。私たちは、セキュリティ・省エネ・物流システムなども含めた総合的な運営管理をおこない、快適環境の提供・維持に努めています。



最先端技術を投入した設備・運営管理

ThinkPark Tower設備・運営管理の事例

●受付システム

WEB上の専用サイト(ThinkPark Net)に各入居者より事前に申請された来訪者を、2階の総合受付で確認。入館許可の対応をおこなっています。



●Digital Lounge

エントランスホールの一角には公衆無線LAN環境の整備された「Digital Lounge」を設置しています。



●防災センター

24時間体制の有人監視による館内の警備、各種設備の運転監視、ITVカメラによる映像監視をおこない、安全性の向上を図っています。



●物流管理センター

ビルのスタッフが宅配便・新聞などの館内配達サービスを行っています。不特定多数の配送業者がオフィスフロアに立ち入ることがなく、高いセキュリティを保っています。



●フラッパーゲート

非接触ICカードをかざして入館。入居者など、許可された者のみの通過を可能とし、不審者侵入を防止しています。



●エレベーターホール(2階)

オフィス専用のエレベーターは、低層用・中低層用・中高層用・高層用の各8基、計32基。対象階以外へのアクセスを防止する不不停階制御も採用しています。



ブライダル事業

ブライダル事業のテーマは、「ペントハウスウエディング」。WTCビルの38～40階にあるスカイホールでは、すべてのウエディングスペースから都会のさまざまな表情が楽しめます。内装から調度品に至るまで上質にこだわり、お客様へのきめ細やかな対応に努めています。



ブライダル事業の特長

- 東京を一望できる地上152mからのダイナミックなパノラマ
- 格調高く国際的な社交場として名高い「東京會館」とのコラボレーションによる料理
- 飛行機、新幹線を利用する遠方からのゲストにも喜ばれる駅直結の好ロケーション
- 多様なニーズにきめ細かく応えるウエディングプランナーをはじめとするスタッフ



スカイチャペルクリスタル



儀式殿



マリーン



ブライダルサロン

Point in Check

● ペントハウスウエディング

自然光があふれ、爽やかな風を感じる日中。夕景から夜景へ、都会の表情の変化を楽しめるトワイライト。宝石箱をひっくり返したような夜景。美しい景色と贅沢な時間をゲストとともに分かち合う、喜びと感動のウエディングをご提案しています。

● コンセプトは“個性的でおしゃれなコーディネート”

幾重にも重なり輝く光のピースは幸せの数を、幾何学模様は縁で結ばれ繋がっていく絆をイメージ。クロスデザイン一つ一つにも思いを込めた上質なコーディネート。高層階ならではの景色と素敵な音楽が彩る洗練されたウエディングスペース。そして心を込めたお料理で、かけがえのない一日を演出します。



分譲マンション事業実績



WTC菊名マンション(1977年)



WTC武蔵小山マンション(1980年)



WTC津田沼マンション(1983年)



WTC南馬込マンション(1984年)



WTC鶴ヶ峰マンション(1989年)



アジュールーノ宮(1991年)



シティホームズ東戸塚*(1994年)



Tokyo Sir House*(2003年)



Tokyo Sir House*(2003年)



レガリア*(2004年)



シティ能見台つどの街*
参番館・四番館・五番館・六番館(2006年)



ベルディオ三鷹レジデンス*(2007年)



フォレシウム*(2009年、2010年)



ローレルコート東村山*(2011年)



クリアヴィスタおたかの森*
(2011年)



オーシャンステイツ湘南平塚*
(2011年、2014年)



プリーシアテラス湘野辺*(2013年)



エクセレントシティ川崎*(2013年)

浜松町 Hamamatsucho

東京の成長を語るシンボルは、新しい進化へ



昭和45年、浜松町に誕生した世界貿易センタービルは、高度経済成長期に飛躍する東京のひとつのシンボルでした。それから今日まで、東京の陸・海・空の主要拠点として機能してきた浜松町は、成熟したビジネスエリアへと発展を遂げました。JR、モノレール、地下鉄が乗り入れる駅が整備され、バスターミナルからは、臨海副都心へもスムーズにアクセスできます。さらに近くの竹芝桟橋からは水上バスも運航。この上ない立地条件にある世界貿易センタービルは、時代のニーズに呼応しながら、さらなる進化を続けようとしています。

エリアの可能性

世界のボーダーレス化が進捗し、国際交流・ビジネス活動が活発になる中、浜松町エリアは臨海副都心開発の中核地域として、さらなる再開発の計画が進行。汐留、台場、六本木ヒルズ、東京ミッドタウンなど、注目を集める大規模開発地区が至近のこの地は、一方で公園や緑地などの自然とも共存。インテリジェントビルが立ち並びビジネス街となった今も、昭和初期以前の建物が残り、歴史の面影を偲ばせます。古きよき東京の魅力を息づかせながら、ビジネスとアメニティの新しいトレンドが融合。つねに変化を続ける、今後一層の発展が期待されるエリアです。



浜松町ヒストリー

●増上寺の門前町として、文明開化発祥の地として

もともとは小さな漁村であった浜松町が街として形成されていったのは、慶長3年(1598年)の増上寺来転以後のこと。「浜松町」の名は、元禄9年(1696年)に遠州「浜松」出身の権兵衛が名主となったことから生まれました。

明治時代には、いわゆる文明開化の発祥の地として知られ、ガス燈のガスの供給、電話やラジオもこの辺りから始まりました。関東大震災後は東京湾築港の拠点となり、終戦後も一面焼け野原と化した浜松町駅周辺にただひとつ残されていた都電車庫が、復興に伴って賑わいを見せていました。とはいえ、浜松町周辺の町並みは、概して小規模な事業者や生産材料商店が多く、飛躍的な発展を遂げるほどの要素には欠けていました。



●“高度経済成長”という時代の要請のもと、世界貿易センタービルが誕生

昭和30年代、高度経済成長期に入ると貿易量が急激に増大し、国際交流・ビジネス活動が活発化。このような時代の潮流を背景として、都心における交通の要衝地に“国際貿易に関する総合センター”建設の必要性が叫ばれ、その建設用地として浜松町駅前の都電車庫跡に白羽の矢が立ちました。浜松町エリアでは、昭和6年に開港した羽田空港と浜松町間を結ぶモノレールの建設計画・東京湾拡充計画・湾岸道路建設計画・都営浅草線の工事進行などのプロジェクトも進行。都市開発を推進するための絶好の条件を備えていたのです。こうした時代背景の中、日本・東京商工会議所を推進母体として、財界、諸官庁、金融機関、テナント、建設工事関係各社の協力を得て、“交通センターとしての機能を併せもつ世界貿易センタービル”の建設計画が進められました。昭和39年12月、(株)世界貿易センタービルディング(旧社名(株)東京ターミナル)設立。そして、昭和45年2月、高さにおいて当時東洋一(152m)の超高層ビル、「世界貿易センタービル(略称WTCビル)」が着工以来、2年8カ月の歳月を費やして竣工しました。以来、WTCビルは東京における陸・海・空を結ぶ交通の要に位置し、多様なサービス機能を有する複合ビルとして、国際取引や国際交流の場としても広く利用されています。

大崎 Osaki



注目の再開発地区は、未来を思考する



近年めざましい早さで発展する、大崎。

この街に「新しい考えが芽吹き、そして成長していく場を創出する」という開発コンセプトのもと、

ビジネスコンプレックスThinkParkを誕生させました。

地上30階、地下2階のThinkPark Towerを中心に、

ショップ&レストランが連なるThinkPark Plaza、

屋外多目的スペースのThinkPark Arena、

メディカルセンターなどを備え、多様なライフスタイルに応える

東京の新しいコミュニティとして注目を集めています。

これらは、JR大崎駅前に広がるThinkPark Forest(森)の中に

有機的に配置され、テクノロジーと緑が調和した、

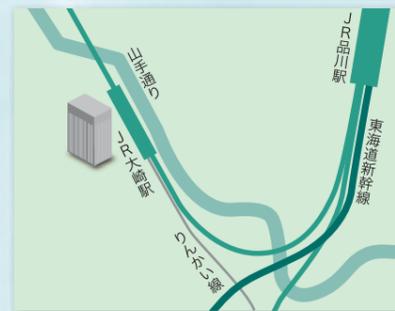
持続的に成長を続ける新しい街づくりの提案でもあります。

エリアの可能性

大崎は、りんかい線やJRの乗り入れによるターミナル化で、ポテンシャルが急上昇。多くの企業の研究所が集積するR&D拠点へと発展しています。

「大崎ニューシティ」にはじまり「ゲートシティ大崎」、「アートビレッジ大崎」、そして「ThinkPark Tower」と、近年の再開発などによる街の将来性、新幹線と羽田空港の玄関口、品川駅へのアクセスのよさなどから、東京都により「7つの副都心」のひとつに指定されています。

閑静な住宅地でありながら繁華街も隣り合わせる立地特性は、多様な生活スタイルにフィットする街として、今後さらに住みやすく、働きやすいエリアへと変化していくことが予想されます。



大崎ヒストリー

●農村から工場街へ

縄文時代の土器や住居跡などが発掘されている大崎ですが、江戸時代は周辺のほとんどが徳川幕府の直轄地(天領)であり、人家も少なく、寺社や大名の下屋敷が点在する静かな農村でした。また、この辺りで作られるゴボウは「居木橋のゴボウ」として有名でした。「大崎」の名の由来には諸説あり、正保年間(1640年代)になって記録に見られるようになりました。

大崎が大きな変貌を遂げるようになったのは、日露戦争後、明治の末から大正にかけての頃。この地は目黒川の水運に恵まれており、旧大崎貨物駅を製品・資材の輸送拠点とすることができたために開発が進行。目黒川に沿って化学・窯業・機械などの工場がいくつも建ち並び一大工業地帯となりました。

●再開発により情報発信拠点へ

昭和に入ってから工場街のイメージが強く、山手線沿線としては比較的地味な存在であった大崎の街が大きな転機を迎えたのは、昭和57年(1982年)のこと。東京都により、「研究開発型産業を核として発展するまち」として7つの副都心のひとつに指定され、昭和62年(1987年)の「大崎ニューシティ」を皮切りに大崎駅東口から徐々に

再開発が進行。

一方、西口では昭和60年(1985年)から、大正時代より歴史を刻んできた株明電舎が工場跡地再開発の検討を開始。幾度の開発計画の修正・変更を経て、平成14年(2002年)9月に東京都より「大崎駅西口地区再開発計画」として都市計画が決定され、平成16年(2004年)1月には東京都における「都市再生特別地区」の第1号として告示されました。その後、平成17年(2005年)1月、当社との間で基本協定書を締結し、再開発プロジェクトが本格的に始動したのです。

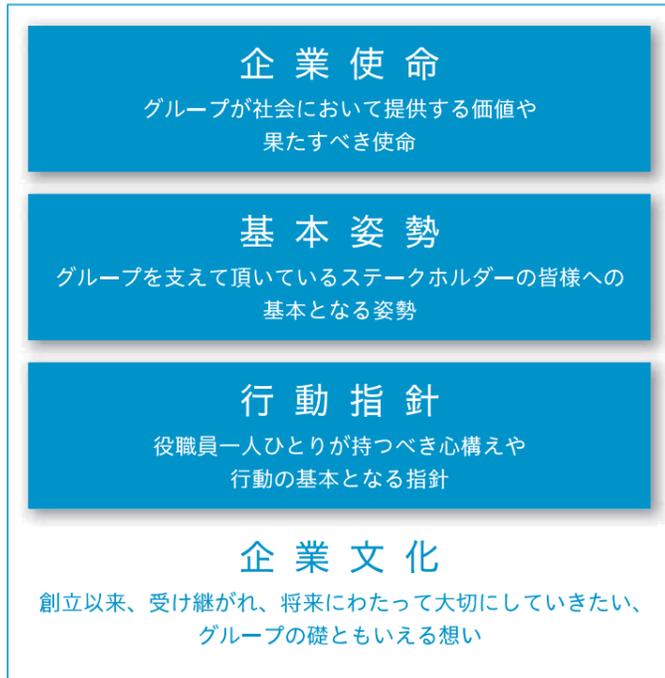
平成17年(2005年)2月、「Thinking & Growing」を開発コンセプトに着工した「ThinkPark Tower」は、平成19年(2007年)8月に西口再開発の第1号として竣工。周辺に居住環境が整備されている大崎は、近年の交通アクセスの向上と相まって、情報発信の拠点として、またコミュニティ創造の場として、東京城南地区を代表する新しい形のビジネス街へ変貌を遂げようとしています。



企業理念

『WTCBグループ企業理念』の全体像

私たちWTCBグループの企業理念は、以下の4つの要素で構成されています。



「企業文化」を礎として「企業使命」を果たしていくために、「基本姿勢」を示し、「行動指針」を実践していきます。



私たちWTCBグループは、
魅力ある空間の創造と
彩りある時間の提供を通じて、
ひとをつなぎ、まちをつなぎ
豊かな社会づくりに貢献していきます。



私たちWTCBグループの役職員は、以下の行動指針に沿って職務に取り組みます。

- 真摯** 状況に流されていませんか。最善を尽くしていますか。
何事にも一貫した誠実さと実直さが必要です。私利私欲を交えず、真心を持って人や物事に向き合おう。そして何が正しいかを考え、行動しよう。
- 多様性** 可能性を狭めていませんか。様々な人の能力を活かしていますか。
多様性を受け入れることで、より大きな成果が生まれます。仲間を思いやり、敬意を払い、感謝の気持ちを持つ。そして目的を共有し、知恵と力を合わせよう。
- 責任感** 人任せにいませんか。自分がやり遂げるという意識を持っていますか。
仕事は与えられるものではなく、自ら作るものです。主体性を持ち、積極的に発言し、率先して行動しよう。そして情熱を持って最後までやり遂げよう。
- 変革** これまでのやり方にとらわれていませんか。新しい発想や改善の意識を持っていますか。
世界は刻々と変化しています。一歩先に行くために、広い視野と多角的な視点で物事をとらえよう。そして既成概念にとらわれず、先見性を持って、柔軟に発想し、行動しよう。
- 挑戦** 現状に甘んじていませんか。困難な壁に挑んでいますか。
壁を乗り越えたとき、人は成長します。外の世界に目を向け、自らを高めよう。そして高い志を持ち、果敢に挑戦しよう。

そしてWTCBグループの未来をともに築こう。



私たちWTCBグループは、真摯な姿勢でステークホルダーの皆様と向き合い、信頼関係を築きます。



創立以来、受け継がれ、将来にわたって大切にしていきたい、私たちWTCBグループの礎ともいえる3つの想いです。

- お客様** お客様の視点で考え、行動し、お客様満足の更なる向上を目指します。
- 取引先** 公正適正な取引を通じ、お互いに良きパートナーとなるよう、相互発展を目指します。
- 株主** 企業価値の向上・経営の透明性を確保し、株主の皆様から信頼と理解を得られるよう努力します。
- 地域社会** 社会の一員としての責任を果たし、地域社会と共生することで、ともに発展していくことを目指します。
- 従業員** 活き活きと働ける環境を作り、従業員が充実した日々を過ごすことができるよう努力します。

- ステークホルダーの皆様を支えられていることを常に想い、つながりを深め、ともに発展し、より良い社会づくりに貢献すること。
- 一人ひとりが役割を誠実に果たすとともに、より大きな成果を生み出すため、縁あって集まった仲間との和を大切に、お互いを尊重し、助け合い、議論を尽くすこと。
- 日々変わりゆく社会の潮流のなかで、守るべきものと取り入れるべきものを熟慮・峻別し、未来に向かって一歩一歩、着実に歩んでいくこと。

沿革

- 昭和39年 ▶ (株)東京ターミナル(当社の旧社名)設立。資本金25億円
ビル基本計画に着手
- 昭和41年 ▶ 倍額増資により資本金50億円
地鎮祭、ビル名称を「世界貿易センタービルディング」と決定
- 昭和42年 ▶ 都市計画法に基づき「特定街区」の指定を受ける
ビル建設工事着手
- 昭和45年 ▶ 当社全額出資により、(株)貿易ビルサービスを設立
「世界貿易センタービルディング」竣工
- 昭和46年 ▶ スカイホール営業開始
- 昭和48年 ▶ 宅地建物取引業者免許取得
- 昭和49年 ▶ (株)東京ターミナルを(株)世界貿易センタービルディングに社名変更
- 昭和51年 ▶ 不動産分譲事業開始
- 昭和59年 ▶ 旅行業者代理業登録
- 昭和62年 ▶ 国際間不動産仲介事業開始
米国現地法人Sebou Real Estate, Inc. 設立
- 平成元年 ▶ 不動産小口分譲事業(Will)開始
アーバイン第1・第2ビル(米国カリフォルニア州)取得
- 平成2年 ▶ WTC内神田ビル竣工
WTCディアコート目黒平町竣工
- 平成3年 ▶ 建物管理受託事業開始
- 平成4年 ▶ 「世界貿易センタービルディング」リニューアル工事に着手
- 平成7年 ▶ 世界貿易センター連合(WTCA)に加盟
- 平成8年 ▶ 「世界貿易センタービルディング」リニューアル工事完工
- 平成10年 ▶ 建設業許可取得
- 平成12年 ▶ 久地診療所ビル竣工
- 平成13年 ▶ コージェネレーション・太陽光発電設備の導入
- 平成16年 ▶ 都市計画法に基づき「都市再生特別地区(大崎駅西口E東地区)」の指定を受ける
アーバイン第1・第2ビル売却
米国現地法人Sebou Real Estate, Inc. 閉鎖
BELCA賞(ロングライフ部門)を受賞
- 平成17年 ▶ 「(仮称)大崎西口開発計画」ビル建設工事に着手
プロジェクト名称を「ThinkParkプロジェクト」と決定
コンファレンスセンター営業開始
- 平成19年 ▶ 「ThinkPark Tower」竣工
警備業許可取得
- 平成25年 ▶ 都市計画法に基づき「都市再生特別地区(浜松町二丁目4地区)」の指定を受ける

世界貿易センター連合

貿易振興、国際交流の公益組織WTCA

WTCは、貿易振興のために世界中に組織された公益グループです。

日本では昭和39年、(一社)世界貿易センター東京(WTCT)が発足、貿易の「相互依存」による「世界平和の推進」という理念のもと、「世界貿易センター連合(WTCA)」の結成を呼びかけました。

昭和43年にアメリカ・ニューオリンズでWTCAが誕生。

以後、ニューヨーク、ブリュッセル、ロサンゼルスをはじめ各国の主要都市で、WTC施設の建設が具体化してきました。昭和52年には国連によって貿易振興のNGOとして承認され、今では、WTCは国にして約100カ国、300拠点にのぼるほどに拡大し、国際貿易・国際交流に貢献しています。



WTCAの準会員である当社は、

WTCA発足時からの会員であるWTCTと表裏一体となって連携を密にしながら、世界貿易センタービル内に設置した貿易関係機関や関連サービス施設を有機的に結びつけ、国際ビジネスマンのために効率的なサービスを提供しています。

会社概要

商号 株式会社世界貿易センタービルディング
WORLD TRADE CENTER BUILDING,INC.

所在地 東京都港区浜松町二丁目4番1号
TEL. (03)3435-3711(代表)
FAX. (03)3435-6054

設立 1964(昭和39)年12月22日

登録・許可 [宅地建物取引業] 東京都知事(13)第24259号
[建設業] 東京都知事許可(特-30)第109266号
[警備業] 東京都公安委員会 第30003268号

資本金 50億円(授權資本:60億円)

代表者 代表取締役社長 宮崎親男

従業員数 103名

事業内容 [ビル事業]
世界貿易センタービル、ThinkPark Tower他オフィスビルの賃貸借、
建物管理、コンファレンスセンター(貸会議室・展示場)・駐車場・
バスターミナル・展望台等の経営

[住宅事業]
マンション、一戸建住宅、宅地等の売買・仲介・賃貸借

[ブライダル事業]
スカイホール(結婚式場)の経営

[その他の事業]
建築請負事業、損害保険代理業等

大株主 (株)日本政策投資銀行 三菱電機(株) (株)みずほ銀行
日本製鉄(株) 東京瓦斯(株) 三菱重工業(株)
鹿島建設(株) (株)集英社

主要取引銀行 (株)日本政策投資銀行 (株)みずほ銀行 (株)三井住友銀行 他

子会社 (株)貿易ビルサービス
オフィスビルの清掃・受付案内、会議室・展示場等の設営、建設業、
世界貿易センタービル内駐車場・展望台管理、各種売店経営、
損害保険代理業、不動産の賃貸借および管理

取締役および監査役

代表取締役社長 宮崎親男

代表取締役専務取締役 椎名俊晶

専務取締役 種井雅之

専務取締役 深谷義紀

常務取締役 副田聡

常務取締役 大野益民

取締役 朝香聖一
(日本精工株式会社名誉顧問)

取締役 岡村正
(日本商工会議所名誉会頭)

取締役 西澤俊夫

取締役 村木茂
(東京瓦斯株式会社アドバイザー)

常勤監査役 野口豪教

監査役 畠山和久
(株式会社日立物流執行役専務)

監査役 西尾昇治
(東京商工会議所常務理事)

組織図

